

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年7月24日

【2017年7月15日～2017年7月21日までの推移】

【1】先週の回顧

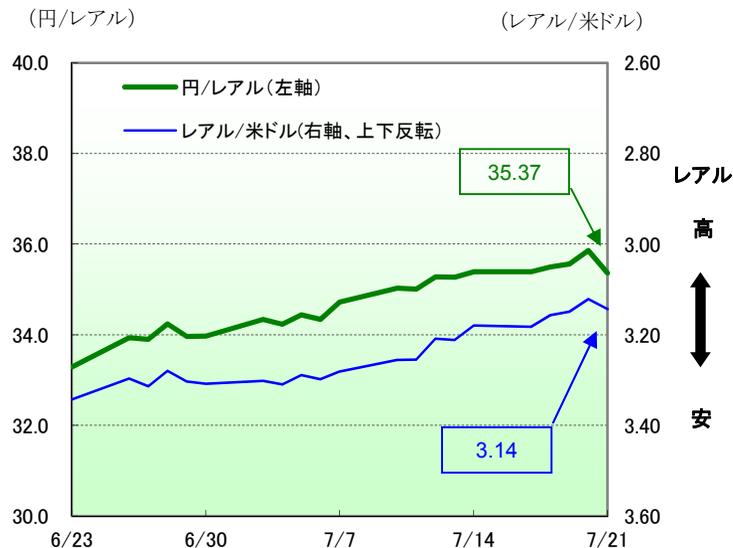
先週レアルは、対円ではほぼ変わらず、対米ドルでは上昇しました。2年国債金利は低下しました。

議会が休会となっているため、政治関連のヘッドラインは限定的でした。

発表されたインフレ率が市場予想を下回ったことで、利下げ期待が高まり、金利は低下しています。

政府は、財政健全化に向け、歳出凍結の拡大と増税に踏み切る方針を示しました。財務省と企画予算省は、今年の連邦政府の支出を追加で凍結するほか、ガソリン等に課せられている税金を引き上げると発表しています。増税による財政収支の改善期待は、レアルの上昇に寄与しました。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年6月23日～2017年7月21日)



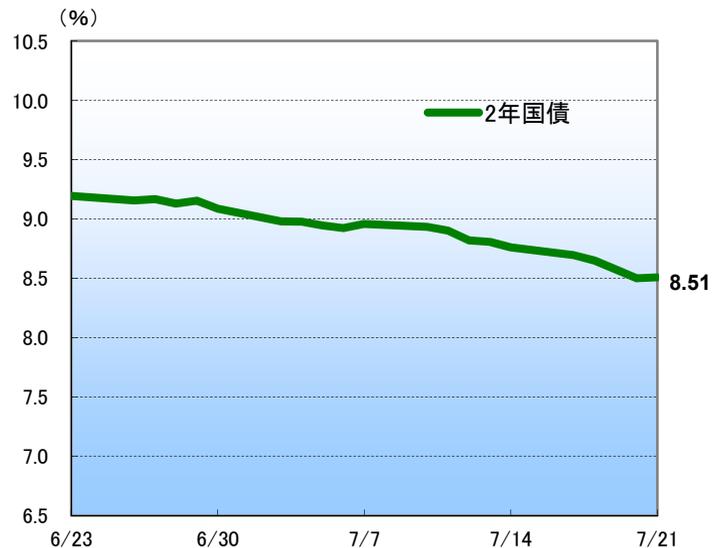
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、Copom(金融政策委員会)が開催され、政策金利が発表されます。市場では利下げが予想されていますが、今後の金融政策を占う上で、利下げ幅や声明文の内容に注目が集まります。

市場で注目されている年金改革を含む社会保障改革法案ですが、議会が休会中のため、採決は8月以降になる見通しです。テメル大統領の支持率の低下を受けて、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きや、社会保障改革法案の内容が後退する懸念などは残っており、政局には注意が必要となっています。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル 金利推移】(2017年6月23日～2017年7月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management